

講義シラバス

科目名	保健Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています						

【授業を通じての到達目標】

美容師は髪や頭皮などの人体に直接触れる仕事であるので、皮膚と皮膚付属器官の名称、構造、機能、疾患などの知識が習得できる

【学習内容】

教科書を中心に皮膚と皮膚付属器官の名称、構造、機能、疾患について解説し、練習問題を行い、国家試験に向けてポイントを整理し確認していく

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書(保健)、プリント

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (10/13)	【到達目標】皮膚科学 皮膚の構造が理解できる 皮膚の表面、表皮、真皮、皮下組織などの皮膚の基本的な名称と構造について学習する	⑨ (12/21)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の保健について理解できる 皮膚と全身状態、栄養、体内病変について学習する
② (10/19)	【到達目標】表皮・真皮。皮下組織について理解できる 表皮、真皮、皮下組織の皮膚を構成する細胞と、その性質について学習する	⑩ (1/11)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の保健について理解できる 皮膚の水分と脂の状態、皮膚の保護と手入れについて学習する
③ (10/26)	【到達目標】皮膚付属器官の構造について理解できる 皮膚付属器官の毛の構造と性質、毛髪について基本的な知識や毛の成長周期について学習する	⑪ (1/18)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の疾患について理解できる 皮膚の異常とその種類、疾患の原因と治療について学習する
④ (11/2)	【到達目標】皮膚付属器官の構造について理解できる 皮膚付属器官の腺、汗腺、爪の構造と機能について学習する	⑫ (1/25)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の疾患について理解できる 皮膚の疾患、非アレルギー性とアレルギー性のカブレについて学習する
⑤ (11/9)	【到達目標】皮膚の循環系、神経系について理解できる 皮膚の血管、リンパ、神経系(皮膚感覚)について学習する	⑬ (2/1)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の疾患について理解できる 過熱、寒冷、角化異常、色素異常、分泌異常による皮膚疾患について学習する
⑥ (11/16)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の生理機能について理解できる 皮膚の保護作用、体温調整作用について学習する	⑭ (2/8)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の疾患について理解できる 細菌、ウイルス、真菌、ダニ等による感染性皮膚疾患について学習する
⑦ (12/7)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の生理機能について理解できる 皮膚の知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用、吸収作用などについて学習する	⑮ (2/15)	【定期試験】 皮膚科学(第1章～第6章)の範囲で筆記試験
⑧ (12/14)	【到達目標】皮膚と皮膚付属器官の生理機能について理解できる 皮膚の免疫作用、再生作用について学習する。毛や爪のはたらきについて学習する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	トップスタイリスト専攻			学年	1年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き28年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。

【学習内容】

美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (10/12)	【到達目標】 <定期試験フィードバック> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。	⑨ (12/21)	【到達目標】 <定期試験対策①> 作業姿勢・人体各部名称・美容用具・シャンプーの理解を深める。 教科書①
② (10/19)	【到達目標】 <チャレンジウィーク> 各自の新たな発見を目的とする。スキャルプマッサージ・ワインディング・カット技術のどれか教科書からトライしたい実技をやってみよう！	⑩ (1/11)	【到達目標】 <定期試験対策②> ヘアカッティング・ヘアセッティングの理解を深める。 教科書①
③ (10/26)	【到達目標】 エステティック (基本手技・フェイシャルケア)に関する基礎知識を学び理解する。	⑪ (1/18)	【到達目標】 <定期試験対策③> パーマントウェーブ・ヘアカラーリングの理解を深める。 教科書①
④ (11/2)	【到達目標】 メイクアップ (スキンケア・アイメイク・アイブロー)に関する基礎知識を学び理解する。	⑫ (1/25)	【到達目標】 <定期試験対策④> エステティック・メイクアップの理解を深める。 教科書②
⑤ (11/9)	【到達目標】 ネイル技術 (種類・道具・手順)に関する基礎知識を学び理解する。	⑬ (2/1)	【到達目標】 <定期試験対策⑤> ネイル技術の理解を深める。 教科書②
⑥ (11/16)	【到達目標】 ※授業配慮 保護者向け 日本髪 (種類・名称・装飾品・技術手順)に関する基礎知識を学び理解する。	⑭ (2/8)	【到達目標】 <定期試験対策⑥> 日本髪・着付け技術の理解を深める。 教科書②
⑦ (12/7)	【到達目標】 <②教科書 ミディアムテスト> エステティック・メイクアップ・ネイル技術・日本髪の範囲内	⑮ (2/15)	【定期試験】60点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (12/14)	【到達目標】 着付け (礼装・花嫁衣裳・着物のいろいろ)に関する基礎知識を学び理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	始関祐華	講師 プロフィール	美術、文化の知識、教員免許を活かし本校で文化論の授業を担当している。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験の科目である文化論の内容を計画的に学ぶことで、スタイリストとしての知識を深めることを目標とする。

【学習内容】

文化論の内容を理解し、西洋のファッション文化史、和装・洋装の礼装について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書文化論、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
⑯ (10/13)	古代エジプト～古代ゲルマンについて学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉒ (12/22)	現代Ⅳ【1960年代】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。
⑰ (10/20)	中世ヨーロッパについて学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉓ (1/12)	現代Ⅴ【1970年代】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。
⑱ (10/27)	近世Ⅰ【16世紀】～近世Ⅱ【17世紀】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉔ (1/19)	現代Ⅵ【1980年代】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。
⑲ (11/10)	近世Ⅲ【18世紀】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉕ (1/26)	現代Ⅶ【1990年代～2010年】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。
㉑ (11/17)	近代Ⅰ【18世紀末～19世紀初め】～近代Ⅱ【19世紀】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉖ (2/2)	和装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。
㉒ (11/24)	現代Ⅰ【1910年代～1920年代】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉗ (2/9)	洋装の礼装について学び、理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。
㉔ (12/8)	現代Ⅱ【1930年代～1940年代前半】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。	㉘ (2/16)	【定期試験】60 西洋のファッション文化(主に近代以降)、和洋の礼装について特徴を理解しているか。
㉚ (12/15)	【到達目標】 現代Ⅲ【1940年代後半～1950年代】について学び、理解を深める。髪型・化粧・服装等の美意識、特徴を知る。		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。

講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
基礎を身につけ 完成度を高める									
【学習内容】									
一つ一つ技術を理解し レベルを上げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (10/10) (10/13)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑨ (12/12) (12/22)	【到達目標】 距離感、姿勢を意識して巻くことができる センター 7分・右BS 10分・左BS 0分			
② (10/17) (10/20)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑩ (12/19) (1/12)	【到達目標】 面に艶があり ロッド幅に毛が広がっている センター 7分・右BS 0分・左BS 0分			
③ (10/24) (10/27)	【到達目標】 センターのバランス確認 左BS 上巻き、下巻き バランス良くスムーズに巻ける				⑪ (1/16) (1/19)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分・右BS 9分 左BS 0分			
④ (10/31) (11/10)	【到達目標】 センター、右BSのバランス確認 左右のBSバランス良く シンメトリーに巻き取られる				⑫ (1/23) (1/26)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分・右BS 0分 左BS 0分			
⑤ (11/7) (11/17)	【到達目標】 根本よりしっかりとシェーブができ 面に艶があり シンメトリーに巻き取られる				⑬ (1/30) (2/2)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある 全頭 25分			
⑥ (11/14) (11/24)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き取られる 右BS 12分・左BS 10分				⑭ (2/6) (2/9)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある。正確なゴム掛けができる 全頭 25分			
⑦ (11/21) (12/8)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き取られる 右BS 11分・左BS 0分				⑮ (2/13) (2/16)	【定期試験】50 1年間で習得した技術を正確に巻く 時間内完成 25分			
⑧ (12/5) (12/15)	【到達目標】 センターを真っすぐにバランスよく取られる センター 7分・右BS 10分・左BS 0分				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	衛生管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師として20年以上手術室、外科系の病院に勤務。その後フリーランスに転身。病氣、けがの対処など教えられるます						
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。									
【学習内容】									
美容師に必要な公衆衛生、環境衛生の基礎を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。パワーポイント、教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・課題・課題など】				
教科書・プリント・国家試験過去問題									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (10 / 12)	【10/12】 感染症の歴史、感染症の分類について理解する。				② (12 / 7)	【12/7】 消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原性微生物の抵抗力、消毒薬の使用上の注意について理解する			
② (10 / 19)	【10/19】 微生物の種類・形と大きさ構造・増殖と環境の影響について知識を深め理解する				③ (1 / 11)	【1/11】 理学的消毒法・科学的消毒法の種類や方法について知識を深め理解する			
③ (10 / 26)	【10/26】 美容師・美容師との公衆衛生がなぜ深く関わりを持つようになったのか、保健所と美容師・美容業 の関わりについて理解する				④ (1 / 18)	【1/18】 理学的消毒法・科学的消毒法の種類や方法について知識を深め理解する			
④ (11 / 2)	【11/2】 微生物の病原性と人体の感受性、汚染・感染症及び発病、常在細菌、免疫と予防接種について知識を深める				⑤ (1 / 25)	【1/25】 すぐれた消毒法の条件、消毒を行うさいの注意事項、各種消毒について知識を深める			
⑤ (11 / 9)	【11/9】 感染症発生の要因、感染症予防の3原則について理解する。				⑥ (2 / 1)	【2/1】 美容所の消毒の実際について理解する			
⑥ (11 / 23)	【11/23】 空気・飛沫を介して感染する感染症、飲食を介して感染する感染症について理解する。				⑦ (2 / 8)	【2/8】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テストテストに備える			
⑦ (12 / 7)	【12/7】 血液を介して感染する感染症、動物などを介して感染する感染症について理解する。具体的な感染予防を理解する				⑧ (2 / 15)	【2/15】 衛生管理3編「感染症」、4編「衛生技術」から出題。			
⑧ (12 / 14)	【12/14】 感染症の具体的な対策例を実際に体験する(正しいマスク装着、吐物処理)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業内容の理解する。授業態度、遅刻の指導									

講義シラバス

科目名	ヘアアレンジ&メイクアップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	福士智子/神敦子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライド等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
美容業界でプロを目指す上で、必要とされる基本的なメイク技術を習得する									
【学習内容】									
美容師に必要なメイク技術を学び、仕事に生かせる作品作りをする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、ヘア道具一式 筆記用具、ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
⑯ (10/14)	【到達目標】 小テスト5点 相モデルでスキンケア～ベースメイクを仕上げる事が出来るようになる				⑲ (12/16)	【到達目標】 小テスト5点 カラーの持つイメージや流行のカラーを学び、相モデルでカラーメイクが出来るようになる。			
⑰ (10/21)	【到達目標】 キズ・ケガメイクの方法や技術を学び、出来るようになる。				⑳ (1/13)	【到達目標】 小テスト5点 ジュエリーをテーマにヘアメイクをする事が出来る			
⑱ (10/28)	【到達目標】 イベントメイク ハローウィーンメイクをする事が出来る				㉑ (1/20)	【到達目標】 小テスト5点 浴衣のヘアセットをする事が出来る			
㉒ (11/4)	【到達目標】 相モデルでアイメイク・アイブロウ・リップ・チークまで仕上げる事が出来るようになる				㉓ (1/27)	【到達目標】 小テスト5点 パーティのヘアセットをする事が出来る			
㉔ (11/11)	【到達目標】 課題 自分の好きなミュージシャンのメイクを模写する事が出来る。				㉕ (2/3)	【到達目標】 小テスト5点 テーマに沿ったメイクを相モデルで仕上げられるようになる。			
㉖ (11/18)	【到達目標】 小テスト5点 編み込みを使ったヘアセットを作ることが出来る				㉗ (2/10)	【到達目標】 モデル・ヘア・メイクのチームに分かれ、テーマを考えてコンセプトシートを作成しテストへ向けてのヘアメイクの練習をする。			
㉘ (11/25)	【到達目標】 小テスト10点 パーティのヘアセットをする事が出来る				㉙ (2/17)	【定期試験】50点 モデル・ヘア・メイクのチームで、テーマに沿ったヘアメイクを60分で行い仕上げる。			
㉚ (12/9)	【到達目標】 小テスト5点 トレンドメイクを学びメイクすることが出来る				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

講義シラバス

科目名	美容実習(カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	牛戸 協子	講師 プロフィール	札幌市内で複数店舗を経営する美容室に入社後、アシスタント・トップスタイリストを経て、20代前半でマネージャーを経験し、結婚退社。復帰後はフリーで活動しながらベルエポックで講師も務めている。現在は顧客・メディア関係のヘアセットも手がけるなど、幅広く活動中。						
【授業を通じての到達目標】									
基本となる何種類かのカットスタイルの切り方を習得し、creativeなカットスタイルまで出来るようになる。									
【学習内容】									
実際にウイッグを使ってカットし、ブロー・スタイリングまで学んでいく									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式(シザー、コーム、タッカー、スプレイヤー、デンマンブラシ、ドライヤー、タオル4枚程度)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
16 (10/10) (10/11)	【到達目標】 ・試験のウイッグを使ってnext styleにchallenge				24 (12/12) (12/13)	【到達目標】 round ・展開図を理解し切れるようになる			
17 (10/17) (10/18)	【到達目標】 ・レイヤーカットを使ってoriginal styleを習得する				25 (12/19) (12/20)	【到達目標】 round ・指定された長さに切れるようになる			
18 (10/24) (10/25)	【到達目標】 gradatuin cut ・ブロッキング、展開図を理解する				26 (1/16) (1/17)	【到達目標】 disconnect ・デイスコネの使い方、用途を理解する			
19 (10/31) (11/1)	【到達目標】 gradatuin cut ・全体の切り方を理解し切れるようになる				27 (1/23) (1/24)	【到達目標】 disconnect ・考え方を理解しカットを練習する			
20 (11/7) (11/8)	【到達目標】 gradatuin cut ・プロのやり方を理解し出来るようになる				28 (1/30) (1/31)	【到達目標】 disconnect ・時間内にカット～ブロー・スタイリングまで仕上げてみる			
21 (11/14) (11/15)	【到達目標】 gradatuin cut ・指定された長さに切れるようになる				29 (2/6) (2/7)	【到達目標】 ・試験のスタイルを時間を計って練習する			
22 (11/21) (11/22)	【到達目標】 gradatuin cut ・時間を計ってカットのクオリティをあげる				30 (2/13) (2/14)	【定期試験】 ・決められた課題を時間内でカットする			
23 (12/5) (12/6)	【到達目標】 gradatuin cut ・中間チェック 指定された時間内にカット&ブローまで仕上げる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルの道	必修 選択の別		開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業、東京にてTOPスタイリスト、ヘアメイクを経験し、原宿ベル講師、原宿ベル職員を経て札幌ベルに移動。東京で活躍している卒業生を数多く輩出し、今年は1年生の担任を行い、学年全体の就職サポートを行う						
【授業を通じての到達目標】									
プロ道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する よりよい学校生活を送るための身構え・気構え・心構えを身に付ける									
【学習内容】									
目標設定、振り返りを行う。インプットだけでなくアウトプットを行う。 Teamsを活用する。 活発にコミュニケーションを取る									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
Teams、社会人基礎力、コミュニケーション検定本、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/28)	【到達目標】 1Sの振り返り 2Sの目標設定について				③ (12/21)	【到達目標】 冬休みの過ごし方、1年間の振り返り 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
② (10/12)	【到達目標】 学園祭の振り返り 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				⑩ (1/11)	【到達目標】 冬休みの振り返り 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
③ (10/19)	【到達目標】 自己分析と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				⑪ (1/18)	【到達目標】 就職活動と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
④ (10/26)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				⑫ (1/25)	【到達目標】 就職活動と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
⑤ (11/9)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				⑬ (2/1)	【到達目標】 就職活動と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
⑥ (11/16)	【到達目標】 導入教育について				⑭ (2/8)	【到達目標】 就職活動と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			
⑦ (12/7)	【到達目標】 導入教育の振り返り				⑮ (2/15)	【定期試験】50 ○社会人基礎力 ○2Sの振り返り、テスト			
⑧ (12/14)	【到達目標】 自己分析と自己PR 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容総合(シャンプー&サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	伊藤元気	講師 プロフィール	ウェルジャパン社に入社し9年目になります。社内の教育チームとしても活動しています！ベルエポックの講師3年目です！						

【授業を通じての到達目標】

サロン入社後、即戦力となるカラー、パーマ、シャンプー、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力、美容師としての在り方、考え方を学ぶ。

【学習内容】

アシスタントとしての在り方、考え方、技術を学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

用具一式、パーマ用具一式、ブロー道具一式、ヘアアイロン、ウィッグ、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ウィッグデザインの仕込みなど

日時	授業計画	日時	授業計画
① (10/10)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	⑨ (12/12)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング
② (10/17)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	⑩ (12/19)	【到達目標】 シャンプー、ブロー
③ (10/24)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング	⑪ (1/16)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング
④ (10/31)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	⑫ (1/23)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング
⑤ (11/7)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	⑬ (1/30)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング
⑥ (11/14)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング	⑭ (2/6)	【到達目標】 シャンプー、スタイリング
⑦ (11/21)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	⑮ (2/13)	【定期試験】50 シャンプー、スタイリングチェック
⑧ (12/5)	【到達目標】 シャンプー、ブロー	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生			
講師名	bico/SEAM	講師 プロフィール	札幌中央区に4店舗を展開。美容室をもっと特別な空間へ。『美容で気分を上げる』を仕事にしています。学生からも支持が高いTOPサロン。							

【授業を通じての到達目標】

作品撮りを通じてモデルへの似合わせのスキルアップ、撮影をすることの意味、スタイルブックを作成して就職活動の自己アピールする力を身につけることができる

【学習内容】

スタイリングのコツ、巻き方、スタイリング剤の使い分けやスマートフォンを使っての写真の撮り方、アプリを用いたの編集の仕方を学びます

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/28)	今の時代にあった撮影の仕方とSNSを用いた自己発信の必要性を理解してもらい、一人ひとりの今後学びたい技術をヒアリングしまとめて次回からの授業に生かすことができる	⑨ (12/21)	写真を撮るのは当たり前、リアルなスタイル動画の撮り方、加工を学び、実践する
② (10/12)	撮影に必要なテクニック、似合わせをまずは学生に近くで見てもらい感じてもらう。その後に撮影までし、生徒自身にもとってもらい、加工に必要なアプリも事前にダウンロードしてもらい、加工の仕方をレクチャーして自分たちでも簡単にできると言うことを認識してもらう。	⑩ (1/11)	今流行のスタイルを展示し、どのようにしてこのスタイルを作っているのかを考え学ぶ
③ (10/19)	撮影に必要なテクニック、似合わせをまずは学生に近くで見てもらい感じてもらう。その後に撮影までし、生徒自身にもとってもらい、加工に必要なアプリも事前にダウンロードしてもらい、加工の仕方をレクチャーして自分たちでも簡単にできると言うことを認識してもらう。	⑪ (1/18)	今流行のスタイルを展示し、どのようにしてこのスタイルを作っているのかを考え学ぶ
④ (10/26)	撮影に必要なテクニック、似合わせをまずは学生に近くで見てもらい感じてもらう。その後に撮影までし、生徒自身にもとってもらい、加工に必要なアプリも事前にダウンロードしてもらい、加工の仕方をレクチャーして自分たちでも簡単にできると言うことを認識してもらう。	⑫ (1/25)	今までやってきたことややっていないことなどをヒアリングし、学生の気になることを解消する。また就職での悩みなども聞いて就職活動へのスイッチを少しでも意識づける
⑤ (11/9)	今までの授業で学んだ事を今の段階で一番素敵なスタイルを作る事を目的とし、似合わせ、ポージング、スタイリング、撮影を全て学生たちに実践してもらい、	⑬ (2/1)	クラスの中で4から5人の人数でチーム分けし、モデル、ヘア、メイク、ファッション、撮影など役割分担して一つの作品を作り上げる。加工までする
⑥ (11/16)	今までの授業で学んだ事を今の段階で一番素敵なスタイルを作る事を目的とし、似合わせ、ポージング、スタイリング、撮影を全て学生たちに実践してもらい、	⑭ (2/8)	前回の作品をチームごとに発表、また最後の試験に向けて、今まで自分で作ったスタイルやブックに必要な材料を用意してブック作成の時間にします
⑦ (12/7)	作品に対してのフィードバックを目的としますが、学生自身が人前で自分の言葉で自分の作品をスピーチすることによって自己アピールする能力のアップも目的とする	⑮ (2/15)	【定期試験】60 内容のクオリティはもちろん今まで学んだ人前で話すスキルや自己アピールも評価対象とする
⑧ (12/14)	【到達目標】 事前に告知し、自分で撮りたいテーマ、モデルを用意して授業がいの時間を使って作品撮りをしてもらって、前回同様発表してもらいます。学生一人一人の世界観やデザインレベルをみんなで共有する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト60点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	カラーリングデザイン	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	元山、石川、佐々木、木村	講師 プロフィール	札幌美容室Bud						
【授業を通じての到達目標】									
カラーの基礎知識、技術ができるようになる									
【学習内容】									
ヘアカラーの基礎技術、ブリーチカラー									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラーに必要な道具、ウィック、クランプ、ハケ、グローブ等									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (10/18)	【到達目標】 ブリーチ全頭 ウィックにブリーチを実際に塗ってみる。 前回のデモウィックと照らし合わせてフィードバックする。				⑨ (12/20)	【到達目標】 カラーリング応用			
② (10/25)	【到達目標】 ブリーチ全頭 ウィックにブリーチを実際に塗ってみる。 前回のデモウィックと照らし合わせてフィードバックする。				⑩ (1/10)	【到達目標】 カラーリング応用			
③ (11/1)	【到達目標】 ブリーチオンカラー、 実際にオンカラーしてみる。				⑪ (1/17)	【到達目標】 カラーリングデザインを考案作品作成			
④ (11/8)	【到達目標】 ブリーチオンカラー、 実際にオンカラーしてみる。				⑫ (1/24)	【到達目標】 カラーリングデザインを考案作品作成			
⑤ (11/15)	【到達目標】 カラーリング応用 コンビネーションデザイン				⑬ (1/31)	【到達目標】 カラーリングデザインを考案作品作成			
⑥ (11/22)	【到達目標】 カラーリング応用 コンビネーションデザイン				⑭ (2/7)	【到達目標】 カラーリングデザインを考案作品作成			
⑦ (12/6)	【到達目標】 リタッチ理論 リタッチについて気をつける点や、選定理論を説明、理解する。				⑮ (2/14)	【定期試験】50 テスト カラーリングデザインと仕上げ 筆記テスト			
⑧ (12/13)	【到達目標】 リタッチ実践 6で使ったウィックを使ってリタッチする。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (オールウエーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	稲川 千絵	講師 プロフィール	市内大手の美容室に勤務後、円山の個人店勤務をしながら平成16年から 本校で国家試験科目第二課題を専門に学生をサポートしています。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験実技課題であるオールウエーブ7段構成の完成に向け、基本であるフィンガーウエーブの技術力をつける									
【学習内容】									
正確なウエーブ幅、テンションの効いた艶のあるウエーブ、リッジ、7段と縦 1/3のバランス、3段目スカルプチュアカールまでの技術力をつける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス・AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・ 雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)					毎週宿題あります				
日時	授業計画				日時	授業計画			
⑯ (10/11) (10/13)	【到達目標】 フィンガーウエーブ授業の目的、到達目標の確認授業を受ける上での約束事 道具の名称、使い方、ウィングの取り扱い方、ローションの作り方 基本姿勢の確認 実際にウエーブを作ってみる				⑳ (12/13) (12/22)	【到達目標】 3段目スカルプチュアカールに入る 目標、姿勢、コームの使い方強化 割れないウエーブ、リッジ、バランスの良い2段目が作れるようになる			
⑰ (10/18) (10/20)	【到達目標】 フィンガーウエーブの強化、基本姿勢の強化 正しい目標、セットコームの持ち方、45度シェーブの動作、ウエーブを 作る上での技術力を身につけるようになる				㉑ (12/20) (1/12)	【到達目標】 スカルプチュアカール復習 ピンニングの手つきができるようになる 3段目にスカルプチュアカールを正しく入れるようになる			
⑱ (10/25) (10/27)	【到達目標】 基本であるフィンガーウエーブと基本姿勢の強化1段目を止める 正しい目標、セットコームの持ち方、45度シェーブの動作、ウエーブを 作る上での技術力を身につけ、2段目からウエーブがつくれるようになる				㉒ (1/17) (1/19)	【到達目標】 フロントサイドのウエーブ幅を習得し、バランスの良い額を作れるようになる 7段と縦1/3のバランスを理解する			
㉓ (11/2) (11/10)	【到達目標】 コームの使い方、基本姿勢を意識し、2段目ウエーブ幅のバランス、 全体のウエーブ幅のバランスを理解できるようにする				㉔ (1/24) (1/26)	【到達目標】 縦3等分のくり抜き、4、5、6段目幅を意識して 横スライスを正確にとれるようになる 左右ウエーブのバランスを意識できるようにする			
㉕ (11/8) (11/17)	【到達目標】 先週と同様基本姿勢を意識し、2段目ウエーブ、リッジをバランス良くつくる バランスの良いウエーブ幅で7段目まで作れるようになる				㉖ (1/31) (2/2)	【到達目標】 先週と同様幅の強化、正しい目標、姿勢、45度シェーブの角度を意識し、 タイム計って作れるようになる			
㉗ (11/15) (11/24)	【到達目標】 タイムを計って2段目～7段目までつくる 基本動作、コームの持ち方、使い方、目標を意識し、 バランスの良いウエーブ幅、割れないウエーブ、リッジを作れるようになる				㉘ (2/7) (2/9)	【到達目標】 定期試験に向けて強化 23分でバランス良い髪ができるようになる			
㉙ (12) (12/8)	【到達目標】 タイムを計って2段目～7段目までつくる。基本動作、コームの持ち方、使い方、目標を 意識し、 バランスの良いウエーブ幅、割れないウエーブ、リッジを作れるようになる				㉚ (2/14) (2/16)	【定期試験】50 定期テスト23分で作る 1段目止め2段目～くり抜きながら、4、5、6段目スライス取り、 23分で時間内完成			
㉛ (12/6) (12/14)	【到達目標】 2段目から7段目まで中間テスト 失敗を恐れず今できる範囲でつくる 15分間 時間内完成が目標				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
国家試験は技術だけでは合格できません。忘れ物、衛生も重要です。 毎回の授業の積み重ねが大切になっていきます。									